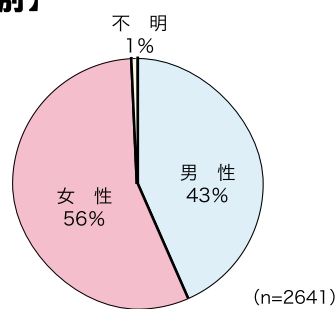


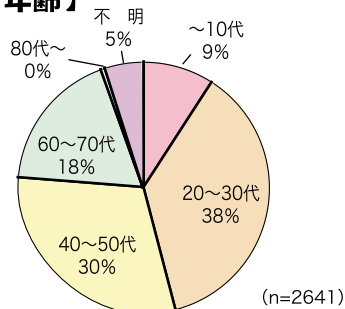
3. アンケートのデータ集（選択式アンケート）

回答者の属性

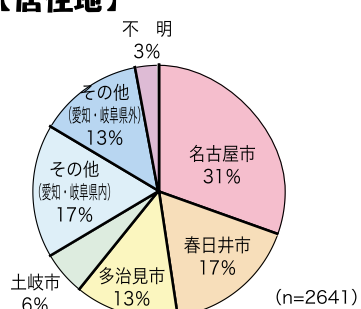
【性別】



【年齢】

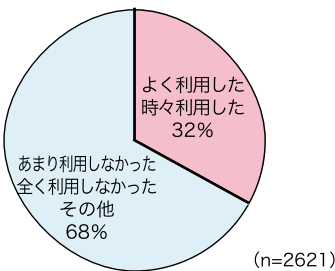


【居住地】

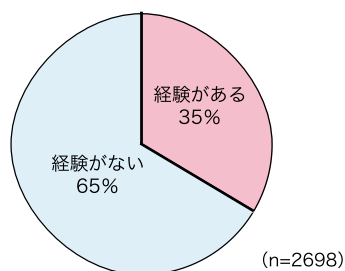


設問の回答

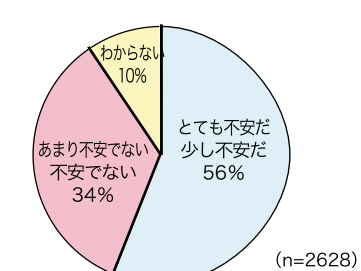
【1】最近1年間で河川を利用しましたか？



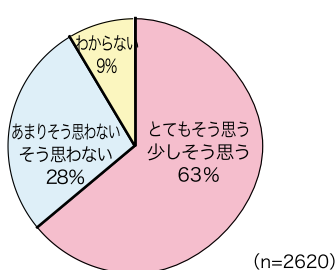
【2】水害の経験はありますか？（複数回答）



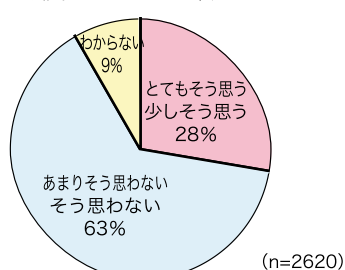
【3】洪水に対する不安はありますか？



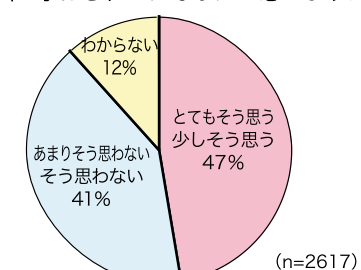
【4】河川敷の空間は利用しやすいですか？



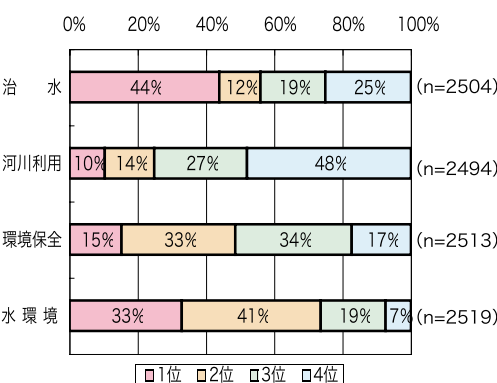
【5】動植物が息できる環境だと思いますか？



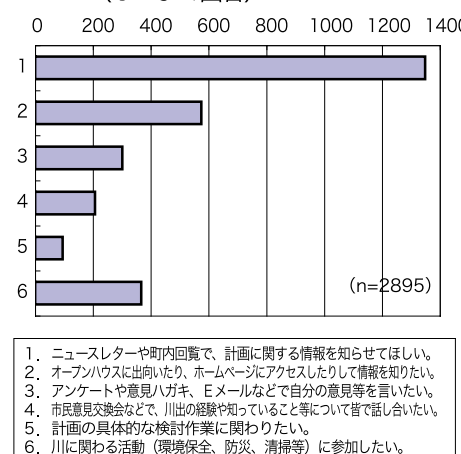
【6】川の水はきれいになったと思いますか？



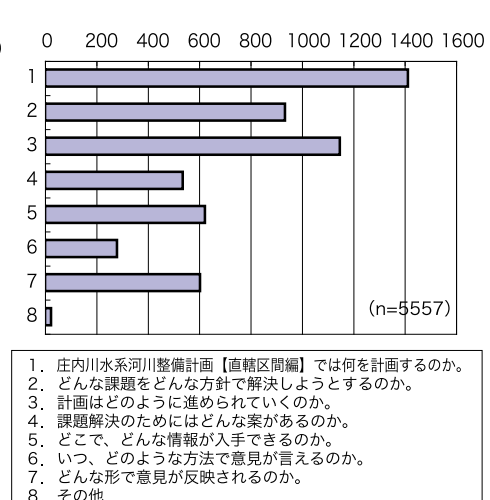
【7】どのようなことを重視して整備をしてほしいですか？



【8】土岐川庄内川コレカラプロジェクトにどのように関わっていきたいですか？（3つまで回答）



【9】どのような情報が公開されるべきだと思いますか？（複数回答）



今回のオープンハウスでは、この他に「展示したもの以外に検討すべき課題」と「土岐川・庄内川らしさとは」についてのご意見をいただきました。
アンケート集計結果は「土岐川庄内川コレカラプロジェクト」ホームページでもご覧いただけます。

発行／お問い合わせ
国土交通省 中部地方整備局
庄内川河川事務所
〒462-0052 名古屋市北区福徳町5-5 2
フリーダイヤル 0120-4071-41
http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/



土岐川庄内川コレカラプロジェクト オープンハウス

アンケート集計結果 - 速報 -

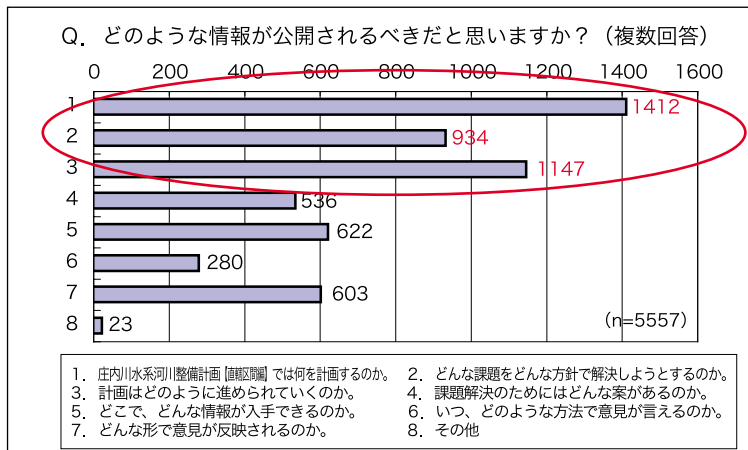
この集計結果は、国土交通省庄内川河川事務所が平成15年8月～9月の期間に土岐川庄内川沿川の6会場で行った「土岐川庄内川コレカラプロジェクトオープンハウス」でのアンケートの結果をまとめたものです。
アンケートは選択式のアンケートと、パネルにシールを貼っていただき、別紙にコメントを記入していただくステッカーアンケートの2種類を実施しました。オープンハウスには多数の方々にご来場いただき、選択式アンケートには合計2641名、ステッカーアンケートには222名の方からご回答をいただきました。



1. 選択式アンケートの傾向

傾向1：計画する内容や計画の進め方がよくわからないという声が多い

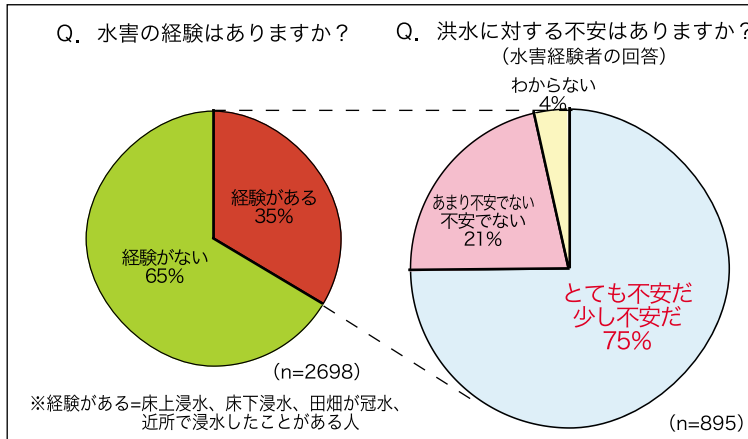
土岐川庄内川コレカラプロジェクトを進めるにあたり、どのような情報が公開されるべきかをお聞きしました。
中でも「計画の内容」や「計画の進め方」について知りたいという方が多く、今後の検討作業を進めていくうえで、どのような手順をふんでどのような計画が策定されるのか、また、現時点ではどこまで作業が進んでいるのかなどといった情報が、流域住民の皆さまにも伝わるようにしていく必要があるということがわかりました。



1. 庄内川水系河川整備計画【直轄】では何を計画するのか。
2. どんな課題をどんな方針で解決しようとするのか。
3. 計画はどのように進められていくのか。
4. 課題解決のためにはどんな案があるのか。
5. どこで、どんな情報が入手できるのか。
6. いつ、どのような方法で意見が言えるのか。
7. どんな形で意見が反映されるのか。
8. その他

傾向2：洪水に対する不安が強い

アンケートにお答えいただいた方の3割以上の方が水害にあった経験があり、そのうち、未だ洪水に対する不安をお持ちの方は4分の3にものぼりました。
洪水に対する安全性を確保することは、流域住民の皆さまの生活や生命を守ることであり、現在でも激特事業などが進められていますが、皆さまが安心して暮らせる環境を作っていくことが大切であるということをご確認しました。



傾向3：整備にあたっては洪水氾濫の防止を優先して欲しいという声が多い

今後、河川整備を進めていくうえで、流域住民の皆さまが、どのようなことを重要視しているか、各項目に優先順位をつけていただきました。
土岐川・庄内川流域は、平成12年9月の東海豪雨で大きな被害を受けており、洪水に対する安全性を確保することを第1位としている方が多く、最も重要視されているということがわかりました。
また、昔とくらべて土岐川・庄内川の水はきれいになったという印象をお持ちの方も多くにも関わらず、さらなる水環境の向上を求める声が多数あり、決して現状には満足していないということがわかりました。

